中央小だより

学校と家庭と地域をつなぐ
稚内中央小学校　学校だより

中央小は３あ運動
あいさつ・あんぜん・ありがとう

発行：中央小学校
発行日：H30.12.21

「ポジティブな言葉がけ」の大切さ

校長　船木真澄

平成最後の２学期が今日で終わります。２学期のスタートにあたり、『確かな学力』の育成のために」５つ、『つながり合う力』の向上を図るために」２つの重点項目を定め取り組むことをお知らせしました。児童アンケート・学校評価アンケート等の分析結果を基に、２学期の取組の成果や課題を明らかにし、３学期につなげていきたいと思います。アンケートへのご協力ありがとうございました。結果は３学期にご報告いたします。

さて、今年の流行語大賞に「そだねー」が選ばれました。選出理由には、「…トップアスリートから発せられるのんびりとしたやりとりはほっとするひと時をもたらしてくれた。マイペースで仲間を尊重し合いながらスペシャルな結果を出す…」とありました。また、本橋麻里さんが、「試合では、ポジティブ（肯定的・積極的）な言葉だけを使うように心がけていた」と話していました。「そだねー」に象徴されるような、相手の考えを尊重し肯定的に受けとめる言葉がけに日頃から気をつけ、「ポジティブに考えるくせ」をつけていたに違いありません。ですから、オリンピックという大舞台でも重圧や緊張感に押しつぶされることなく、十分に力を発揮できたのでしょう。

以前、「今の自分を受け入れてもらえているという安心感をもてる言葉がけが大切」「夢中になれる事や好きな事、得意なことがあり自分を肯定的にみられたり、認め励まし支えてくれる大人がいたりすれば、たとえ厳しい生活環境や逆境にあっても、子ども自身の力で未来を切り開いていける」と子どもの自己肯定感を育む大人の関わり方や働きかけの大切さについて紹介しました。今年の教育講演会の講師、植松努氏も『どうせ無理』は人の自信と可能性、機会を奪ってしまう。逆に『だったらこうしてみたら?』という言葉を使うことで、夢は叶う」と、ポジティブな言葉がけで子どもの夢を応援することの大切さを話されていました。

子ども達の中には、「もともと○○できない」「○○しても意味がない」「失敗したくない」と、起こる事実に対して否定的な見方をし、やる前から失敗することやうまくいかないかもしれない想像をしてしまう子がいます。見方を変えると、「慎重派で思慮深い」と言え、マイナスばかりではありません。しかし、やればできるのに、できるかもしれないのに、自分を肯定的に見られず行動を制限してしまっている場面に遭遇し、残念、もったいないと思うことがあります。

同じ事実でも肯定的・否定的、どちらの見方もできます。周りの大人が子どもを、子ども同士が互いを肯定的に見ること、「大丈夫」「そうだね」「どうしたの」「こうしたらもっと良くなる」とポジティブな言葉がけに心がけることが大事です。そうすることで、子ども一人ひとりが自分自身を肯定的に受け止め、新しいことや苦手な事にも挑戦してみようという意欲が生まれると思います。

日々、子どもに接している大人として、ポジティブに考えるくせがついているのか、ポジティブな言葉がけをしているのか、自分を振り返る機会となった、「そだねー」でした。

終わりになりますが、１月１６日の始業式には元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。どうぞ、良い年をお迎え下さい。

今年度もご協力をお願いします！

■稚内ユネスコ協会より、「書き損じハガキ回収」の取り組みについて依頼がありました。■アジアの貧しい国々への学校支援を目的とする事業で「世界寺子屋運動」とも呼ばれています。■学校１階階段横廊下・２階おしゃべりコーナー（ブックランド横）にポストを設置しています。■書き損じハガキがありましたら、ぜひ、ご協力ください。

１年を通じて受け付けています。

一月の予定

一（火）元日　子育て平和鐘打式
八（火）グングン（午前三年・午後四年）
九（水）グングン（午前三年・午後四年）
一〇（木）グングン（午前三年・午後四年）
一一（金）グングン（午前三年・午後四年）
一六（水）三学期始業式
一七（木）冬の交通安全街頭指導（～一八日）
一八（金）漢字検定
　書初め書道展展示（～二〇日）
一九（土）北地区子ども育成連合会例会
二一（月）スキー学習（五年）
　ふれあいサークル
　食に関する指導（二年生）
二二（火）学力検査（国語）
二三（水）学力検査（算数）
二四（木）スキー学習（三年）
　ＡＬＴ（三～六年）
二五（金）スキー学習（四年）
　冬休み作品展展示
　（拠点センターにて～二月七日）
二八（月）スキー学習（六年）
二九（火）スキー学習（五年）
三〇（水）活動委員会
　管内美術展
　（小学校の部～二月一日）
三一（木）北地区学校間交流

良いお年を・・・

～ベルマーク委員会の活動にご協力を～

使用済みカートリッジがベルマーク点数五点になります。

取り扱うカートリッジは、「エプソン」「キヤノン」「ブラザー」です。

校内に回収箱を設置しますので、ご協力をよろしくお願い致します。

夢は医者！☆未来を拓く講演会

『面白いと感じたことは積極的に調べてみよう』
『小中学校の間にたくさん遊んで楽しい時間を作ろう』

研修医の大塚先生・上坂先生から子ども達へのメッセージ

今回の講演会は、研修医のお２人を講師に招き、地域での医療従事者不足が深刻化する中、医療職への重要性について理解を深めてもらうほか、医師への夢や希望を持ってもらうことで、将来、地域医療を担う子ども達を育成することがねらいとなっています。

医師になるために必要なことや医師のやりがいについて話をしていただき、また、中学校に向けてや将来の夢に向けてについても話をしていただきました。

笑顔あふれた中央小祭り

一二月二〇日、子どもたちが心待ちにしていた中央小祭りが行われました。二〇年以上の歴史がある、児童会主催の行事です。

「お化け屋敷」「迷路」「宝つり」「ストラックアウト」「射的」等々、十一月下旬から少しずつ準備を進めてきた多彩な模擬店が一日限定でオープンしました。

低学年の子どもたちは、あっちのお店、こっちのお店と走り回っていました。

低学年にとっては、高学年への感謝の気持ちを育てる、高学年にとっては、協力する力や見通しを持って活動する力を育てる取り組みです。学年を越えた子どもたちの交流が深まりました。

四年生以上の子ども達は、お客さんを楽しませようと、一生懸命に取り組んでいました。

12月から勤務することになりました
せととみこ
瀬戸富子先生

時間講師として、１年生の「国語」と「算数」の学習の支援をします。

１２月から１年生の補助に入っています。

私は昭和５６年から１３年間、中央小に勤務していましたので、当時の教え子のお子さん達も在籍していて、感無量です。

１年生からパワーをもらって若返ってます。

どうぞ宜しくお願い致します。

6年生！福祉の学び！

講師の皆様、たいへんお世話になりました！

１２月１９日に６年生が「福祉」の授業を行いました。今回の授業は、生活福祉部長寿あんしん課の方々を講師にお招きし実施しました。普段体験できないこと、また、講話でもたくさんのことを学ぶ機会になりました。

手をつなぐ子らの合同学習

一二月一四日（金）、南小学校で今年度最後の市内合同学習があり、中央小ぽぷら学級のみんなで参加しました。

ドッヂボールや工作をいっしょに楽しんで、ほかの学校のお友達とも仲良く遊ぶことができました。来年も楽しみですね。

稚内市 読書感想文コンクール

１２月１６日（日）市立図書館で読書感想文コンクールの表彰式が行われました。本校からは４名が入賞しています。おめでとうございます！

◆中学年の部

【優秀作】
瀬川優心さん（四年）
『レンタルロボット』

【奨励賞】
櫻井陸人さん（三年）
『エルマーと１６ぴきのりゅう』

【奨励賞】
藤田陽菜さん（四年）
『拝啓、お母さん』

◆高学年の部

【優秀作】
金子　楓さん（五年）
『あしながおじさん』